

一般社団法人 岩の力学連合会
平成 25 年度・常任理事会 議事録

日時	平成 25 年 8 月 9 日 14:00~17:00	場所	(公社) 地盤工学会会議室
----	-----------------------------	----	---------------

常任 理事会	理事長	尾原 祐三	○	副理事長 (賞選考)	福井 勝則	○	幹事長 (総務)	坂口 清敏	○
	常任理事 (国際技術)	青木 智幸	○	常任理事 (電子J)	山口 勉	○	常任理事	京谷 孝史	○
	常任理事 (RockNet)	笹尾 春夫	○	常任理事 (編集)	蔣 宇静	●	常任理事	岸田 潔	×
	常任理事 (50周年)	石田 毅	○						
							事務局	富田明日香	○

敬称略順不同, ○:出席, ×:欠席, ●:Web出席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料 25-2-1	平成 25 年度定時社員総会 (通算 35 回) 議事録
資料 25-2-2	平成 25 年度臨時理事会議事録 (案)
資料 25-2-3	平成 25 年度第 1 回常任理事会議事録 (案)
資料 25-2-4	会員の入退会
資料 25-2-5	平成 25-26 年度理事名簿・理事の業務分担
資料 25-2-6	第 35 回総会時理事長挨拶
資料 25-2-7	将来構想検討特別委員会報告
資料 25-2-8	平成 24 年度正味財産増減計画書 (一般会計)
資料 25-2-9	平成 24 年度正味財産増減計算書について
資料 25-2-10	平成 25 年度予算 (一般会計)
資料 25-2-11	第 1 回岩石力学・岩盤工学に関する若手研究者会議 (案)
資料 25-2-12	編集委員会年次計画等
資料 25-2-13	国際技術委員会年次計画等
資料 25-2-14	電子ジャーナル委員会年次計画等
資料 25-2-15	Rock Net 委員会年次計画等
資料 25-2-16	連合会賞選考委員会年次計画等
資料 25-2-17	総務委員会年次計画等
資料 25-2-18	総務委員会企画 WG 年次計画等
資料 25-2-19	地殻応力国際シンポジウム(RS2013)組織委員会報告
資料 25-2-20	ARMS8 組織委員会 審議・報告事項
資料 25-2-21	50 周年記念事業実行委員会年次計画等
資料 25-2-22	諸規則等の整備状況
資料 25-2-23	岩の力学連合会旅費規程 (案)
資料 25-2-24	旅費算定標準別表 1, 2, 3, 4 および航空運賃表
資料 25-2-25	役員・委員等外国出張旅費規程 (案)
資料 25-2-26	海外出張者の出張中における災害補償規定 (案)
資料 25-2-27	理事会等運営規定の素案
資料 25-2-28	Agenda of ISRM CM2013, Invitation mail
資料 25-2-29	Asian Council meeting 2013, Activities of NG of Japan(June 2012-June 2013)
資料 25-2-30	Proposal (Suggested Method for Laboratory Acoustic Emission Monitoring)
資料 25-2-31	EIT-JSCE Joint International Symposium 共催について
資料 25-2-32	岩の力学連合会 Skype 有料 ID について
資料 25-2-33	ISBN 出版社記号の取得について
資料 25-2-34	日本学術会議協力学術研究団体の指定について

尾原理事長より挨拶があった。

議事前報告事項

1. 総会
2. 臨時理事会

議 題：

1. 前回議事録の確認

5. 平成 25 年度収支予算の見直し

「繰越金が 3,686,552」の部分を「繰越金が 3,686,552 円」に修正。
他は原案通り承認。

2. 会員の入退会

資料 25-2-4 を用いて現状の入退会状況の説明がなされ、原案通り承認された。なお、一部の退会、除名会員については、再入会のお願いをする等、個別の対応することとした。

3. 平成 25 年度の活動方針

3-1 理事の役割分担

資料 25-2-5 を用いて、理事の役割分担について説明があった。その中で、坂口幹事長から、定款 30 条によれば、「常任理事は 5 名以内（理事長、副理事長、幹事長除く）とすることができる。」とあり、現時点の常任理事数 7（理事長、副理事長、幹事長除く）は定款に抵触しているとの指摘があった。これに対して、定款 30 条に、「必要に応じ、常務理事を置くことができる」とあるので、現常任理事の中から、数名を常務理事にすることが了承された。この結果を受けて、常任理事（理事長、副理事長、幹事長除く）は、連合会組織 4 団体（土木学会、地盤工学会、資源・素材学会、日本材料学会）総括を担当する理事とすることとし、常設委員会委員長のみを担当する理事を常務理事とすることとした。また、常任理事、常務理事の役割等も含め、本決議内容については、今後整備予定の「理事会・常任理事会・常務理事会規則（仮称）」に記載することとした。

3-2 次の 10 年を見据えた成長戦略の策定

資料 25-2-6 および資料 25-2-7 を用いて尾原理事長より説明・提案があった。主な内容は以下の通りである。

- ① 今後の 10 年のためにこれまでの 10 年を総括して次の 10 年を考えていきたい。
- ② 公益法人へ移行するかどうかの議論も進めたい。一般法人化を成し遂げた田中元理事長の考えもお聞きしたい。なお、法人化に向けてのプロセスでは余剰金と見做される財産問題が根底にあった（福井副理事長）ので、この問題も加味した再議論が必要とされた。
- ③ 「連合会」(Committee)→「学会」(Society)の変更についての議論を進める。
- ④ 各委員会に今後目指す活動について報告を貰って、議論をしたい。
(なお、④については、山口常任理事から、先に、現状と課題を出してもらってからの方が動きやすいのではとの意見があった。)
- ⑤ 事務局の問題（設置場所、事務員、資金等問題）

成長戦略の具体的な動きについては、総務委員会企画 WG でたたき台を提出してもらおうこととした。

3-3 予算の見直し

資料 25-2-8 および資料 25-2-10 を用いて、総会で指摘されていた事項に関して修正案が説明された。修正箇所は、「平成 24 年度正味財産増減計画書（一般会計）」の収入の部で科目「行事参加費：総会時懇親会」の「備考」欄である。修正案のとおり承認されたが、下記、の件については再確認および平成 25 年度分からは反映することとなった。

① 岩の力学国内シンポジウムの「参加費：一般会計 12,000 円～20,000 円×211 名 2,811,000（単位円）」については、その内訳を次回理事会までに再確認する。

② 計算書で使用されているフォントが複数存在するので統一する。

資料 25-2-9 を用いて、収支バランスや今後の対応等について協議した。その結果、以下の点について今後議論を進めていくことで了承された。

① 会員サービスの向上

② 賛助会員の会費を下げる

③ 運転資金を残しながら次の 10 年を見通した収支バランス。総務委員会で目的を定めた使用について議論する。

3-4 若手研究者会議案

資料 25-2-11 を用いて、安原会員（愛媛大学）より提案のある若手研究者会議について説明があった。提案は大筋で了承し、今後「試行」の形で実施許可することとした。ただし、会議の目指す内容、実施方法、運営方法、資金調達、予算の使用方法等について説明が不十分であるので、次回までにより詳細な内容について説明をさせることを確認した。なお、安原会員への対応は坂口幹事長が行うこととした。

4. 委員会審議・報告事項

1) 編集委員会

資料 25-2-12 および資料 25-2-12-2 を用いて報告があった。事業計画の中で、岩の力学の CD-ROM の発行が記載されていない（発行しないことが決定しているため）が、CD-ROM の発行を単に止めるだけではなく、これに代わる会員サービスについて検討するとの補足説明があった。

2) 国際技術委員会

資料 25-2-13 を用いて説明があり了承された。

3) 電子ジャーナル委員会

資料 25-2-14 を用いて説明があり了承された。

4) RockNet 委員会

資料 25-2-15 を用いて説明があり了承された。今後の活動に関して、HP の管理についてはアウトソーシングの可能性について検討をすること、会員限定のページの運用についての検討を進めることになった。

5) 連合会賞選考委員会

資料 25-2-16 を用いて説明があった。選考プロセスの中のヒアリングについて、その必要性の是非について尾原理事長より指摘があり、やり方も含めて検討することとした。

6) 総務委員会報告

資料 25-2-17 および資料 25-2-18 を用いて説明があり了承された。

7) 地殻応力国際シンポジウム組織委員会

資料 25-2-19 を用いて説明があり了承された。

8) ARMS8 組織委員会

資料 25-2-20 を用いて説明があり了承された。

9) 50 周年記念事業実行委員会

資料 25-2-21 および資料 25-2-22 を用いて説明があった。記念事業の内容、スケジュール等については了承されたが、以下の2点については指摘があり、下記記載に従うこととなった。

①「記念式典」については、その内容を具体化させること。

②記念式典の開催時期について、総会や ARMS8 との合同開催が考えられるとの提案があったが、少なくとも ARMS8 との同時開催は無理と判断し、了承された。

5. 規則・細則の審議について

1) 旅費規程, 2) 理事会運営規定の素案

資料 25-2-23～資料 25-2-27 を用いて、上記2規則（案）について説明があった。今後、これらをたたき台として、総務委員会を中心に検討し、早急に施行できるよう対応していくことを確認した。

6. ISRM 関連

1) 2013 ISRM Council meeting

資料 25-2-28 を用いて説明があり、尾原理事長、坂口幹事長、清水 ARMS8 実行委員長が出席することを確認した。

2) 2013 Asian Council meeting

資料 25-2-29 を用いて説明があり、尾原理事長、坂口幹事長、清水 ARMS8 実行委員長が出席することを確認した。

3) WG の設置の Proposal (SM for Laboratory AE monitoring)

資料 25-2-30 および資料 25-2-30-1 を用いて説明があり了承された。

6. その他

- 1) EIT-JSCE Joint International Symposium 共催について
資料 25-2-31 を用いて説明があり了承された。
- 2) 岩の力学連合会 Skype 有料 ID について
資料 25-2-32 を用いて説明があり了承された。
- 3) ISBN 出版社記号の取得について
資料 25-2-33 を用いて説明があり了承された。

報告事項：

1. 日本学術会議研究団体の指定について。
資料 25-2-34 を用いて説明があり、岩の力学連合会が日本学術会議研究団体の指定を受けたことが報告された。
2. その他
3. 次回開催
10月に開催することとし、日程の詳細については、後日メール連絡によって決めることとした。

以上